

本 会 記 事

1. 昭和51年度総会ならびに研究発表会

四国植物防疫研究協議会の昭和51年度総会および研究発表会は、約130名が参加して11月16日高松市の香川県労働福祉会館で開催された。

(1) 総 会

午前10時から開会され、昭和50年度会務報告が承認されたのち、昭和51年度事業計画ならびに予算が上程され、承認された。また、規約の一部改正が行われた。

(2) 研究発表

11時から15時まで、つぎの課題の研究発表が行われた。

都崎芳久：タバコ黄斑えそ病（P V Y - T）の発生状況と発生要因について

以西信夫・川尻啓介・日和田太郎：シルバーポリマルチによるヒオオギウイルス病の防除

山本勉・金磯泰雄：フローダストによるハウス病害虫の防除

佐々木英子・青木敏・尾崎幸三郎：ツトムシの生存曲線の世代間差異について

吉岡幸治郎・松本益美：ドウガネブイブイの2、3の生態的知見

橋田信行・高山照夫：ハスモンヨトウの発生機構に関する研究（Ⅳ）、ハスモンヨトウの摂食促進について

重松喜昭・橘泰宣：夏採りレタスの裾腐病の発生と防除について

重松喜昭・橘泰宣・河野弘・上森実：早採りえんどうの立枯病防除について

黒原春男・倉田宗良：ユズ果実に発生する虎斑様症状について

西内美武：夏季ハウス密閉処理による土壌殺菌効果について

中島洋・安富範雄・尾崎幸三郎：ハクサイ畑でのA f C P V 散布による効果発現時期

根岸務・石渡武敏・浅野昌司：性フェロモンによる直接的防除の可能性(4)

浅野昌司・亀井正治：新規ダニ剤Z A R D E Xの生物活性

(3) 協 議

15時から17時まで、最近問題になっている病害虫の発生状況、防除対策および問題点について各県から報告があり、意見の交換を行った。その要旨の一部は次に掲載した。

2. 明年度総会

昭和52年度の本会総会は今秋四国農試が担当し開催の予定です。